

箱根組ニュース

第311号 2018年11月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入つて山に登りましょう！

横浜市最高峰大丸山周辺を歩く。

10月21日(日)、JR東海道線東京駅発7時46分の普通国府津行きに乗車。雲一つない日本晴れの出発だ。

大船駅に8時31分着。降り立ったのは太田、星野(幸)、川名、和田、有倉、奥村、松本、及川、神山、神吉、岩岳、星野親子、戸丸の14名。東口駅前を左に数分行くとバスターミナル。

9時発の金沢八景行きに乗車。長倉町バス停9時25分下車。

バス停脇の遊歩道の広いところで準備体操。立派な東屋もある。

9時39分出発。ここは私たち川遊歩道、きつと昔はイタチがいたのだろう。小川沿いのレンガの遊歩道を進んでゆく。昔ながらのポンプの井戸があったが水は出なかった。いたち(けもの辺の)川と書かれた橋を渡る。緑の多い立派な沢になる。クレソンも生えているので水がきれいな証拠だ。小さな橋で小川を右にわたる。右に左に渡り返しながら進んでいく。日差しはたつぷりで気持ちがいい。

9時46分、突き当りのようになり左

住宅地のすぐ近くに深い森があることに驚いた。

の階段を上る。「横浜自然観察の森入り口」の看板がある。森の長倉口に着いたようだ。長倉町から285m、ゲンジボタルの谷まで265mとある。ミズキの谷までは500mだ。チカラシバがブラシのような穂をつけてたくさん生えている。昔、子供のころこれを縛って足がかるように毬を作ったことを思い出した。丈夫なのでなかなか切れない。

深い森になってくる。右側に立派なトイレ。自然観察センターを目指して歩く。このルートはミズキの道と名がついている。蛍の住みかとなるように水はきれいだ。蛍のえさのカワニナを取らないでと書いてある。このあたりはいたち川の源流地域ということだ。川の名前を変えて最後には江の島辺りの相模湾にそそぐらしい。赤いツリフネソウが咲いている。ガマズミも赤い実をたくさんつけている。まだ酸っぱいが寒くなると甘くなってくる。ポリフェノール、ビタミンCが多いそうだ。

9時53分、ゲンジボタルの谷に到着。6月には飛ぶ姿が見える。小さな小さな



緑色の丸い実があつたが名前は分からない。小さいメロンのような。どんどん深い森に入つてゆく。木漏れ日の雑木林は気持ちがいい。左側には大きな丸い岩に張りつくように木々が生えている。

10時、ミズキの谷到着。バードウォッチングの施設がある。のぞき窓の付いた屋根付きの施設。のぞくと目の前はかなり大きい池がある。その向こうは立派な森だ。カワセミなどいろんな鳥が見られるようだが、14名のにぎやかさで鳥は見られなかった。池には魚の姿が見られた、小休止。

及川さんより2000円頂きました。打ち上げの残金1000円を入金。

現在の収支	
繰越入金	28275 円
	2100 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	28975 円

切手残数	
82円切手	187枚
40円切手	131枚

10時10分、ウグイスの道と交差する。ホトトギスが咲いている。明るい草地を進む。左にはウグイスの草地、正面にはノギクの広場と看板があるが右方向に進む。コナラの道と合流。タンポポの道も現れる。森の中には

いろんなルートが造られている。

左の小道を入つてゆくと森の中に立派な施設の自然観察センターが現れる。

10時20分、ここを見学することにする。左側には少し小さな建物があり野鳥や植物などの写真が展示されている。正面はメインの建物で係の人が数名いて、本やいろんなものが展示されている。

10時半、出発。右方向に進むとモンキチョウの広場を通過。右には大きな東屋がある。テーブルとイスも多い。

10時35分、ヘイケボタルの湿地。左に入ると小さな尾瀬のようになっている。木道があつてこれを歩く。すぐに右に出てルートに戻る。

ガマズミの赤い実に交じつて少し大きい毛の生えた緑の丸い実がありなんだろうと思議に思つていたが、虫こぶだそうで、ガマズミミケフシと名前がついていてガマズミの幼虫が中にいるようだ。

11月10日(土)は馬頭刈山(884m)です。

レギュラーコース 歩行4時間半

武蔵五日市から急行都民の森行バスで本宿役場前下車。車道を少し歩いてとうげん橋から登り、鶴脚山經由で東に向かい馬頭刈山、下山は高明山から十里木方面に下ります。

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、雨具、傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは11月8日(木)までに

集合 11月10日(土)

JR 新宿駅(11番線) 6時46分発

あきがわ1号 武蔵五日市行き

(前から3両目車内)

◎途中駅発

中野 6:50 三鷹 6:59 国分寺 7:06

立川 7:15 西立川 7:19 拝島 7:29

武蔵五日市 7:55着 (バス乗り換え)

8:10発 急行都民の森行き

本宿役場前下車 8:27着

●交通費 新宿～武蔵五日市 800円

武蔵五日市～本宿役場前 420円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

10時39分、コナラの林の看板。少し傾斜がついてきて山らしくなってくる。左側には木々の間から富士山が大雪をかぶって美しい姿を見せている。

10時50分、尾根のようなところに突き当たる。右は関谷奥見晴台經由、鎌倉天園、鎌倉アルプス方面だ。左は氷取沢・瀬上市民の森經由港南台方面だ。気持ちは鎌倉方面にひかれるが、左へ進む。10時58分、右に大丸山の標識が出る。ちよつと長い丸木状の階段を上る。11時、展望が大きく開けた156.



8mの山頂に到着。広い東京湾越しに对岸の房総半島、つまり千葉県が目の前に見える。すぐ前は八景島、横須賀辺りの景色だ。

11時10分出発。階段状を下りルートに戻る。しばらく歩く。

12時10分、川名さんが計画した昼食会場のいっしんどう広場に到着。ベンチもテーブルもあり、一分ほど下れば公衆トイレもある。ただし焚火やコンロは禁止と書いてある。バーナーは大丈夫だろうということ。テーブルのすぐ横でマイタケとシメジのキノコ汁を作る。やはりこれからは暖かいものは最高だ。皆さん持参のビール、ワイン、日本酒もいただき、手作りのお惣菜でにぎやかな昼食だ。

1時20分、下山開始。ルートを少し戻って分岐を右に下ってゆく。美しい杉林だ。階段状の少し急な所を下ると美しい小川沿いの道になる。沢沿いの広い草地は大丸広場。下って漆窪休憩所通過。割と大きな山茶花の木に赤い花が咲いている所が池の上休憩所。池の下広場も過ぎる。

1時55分、トンボ池通過。右側には猫の額のような小さな田んぼがいくつかある。きつと保存しているのだろう。ルートは「瀬上沢小川アメニティー」と

ある。小川沿いの良い道だ。

2時10分、舗装路との分岐で休憩。車道を右方向に上がり。大通りを右にゆるい傾斜を登ってゆく。信号を左に曲がり緩やかに下ってゆく。

3時頃、港南台駅前に到着、解散。

残った6名が駅前の餃子坊という店に入る。生ビールで乾杯。小さな店だがふつくと大きな餃子はお肉がたっぷりでおいしかった。

大丸山周辺はすぐ横は住宅地なのに自然がいっぱい残っていた。



